

平成 27 年 3 月 13 日

保護者の皆様

府立守口東高等学校
校長 中島 章光

学校教育自己診断の結果について

学校教育自己診断にご協力ありがとうございました。生徒 757 名、保護者 354 名の回答をいただきました。25 年度のアンケート結果と比べますと全体的に大きな相違はありません。簡単ではございますが、今年度の結果につきましてご報告いたします。

(生徒の回答について)

「学校に行くのが楽しいですか?」に対する「良く当てはまる」「当てはまる」の肯定的な回答が 67.2%でした。「学校行事が、楽しく行えるように工夫されている」に対する肯定的な評価も 65.7%で積極的に学校行事へ参加することが学校生活を楽しくしていることがうかがえます。「授業がわかりやすいか?」に対して肯定的回答は 55.8%で、半数程度の生徒がわかりにくいと答えています。「守口東高校に一番望む授業はどれか?」に対して「生徒に応じてレベルやスピードを細かく調節してくれる授業」を選んだ生徒が 34.3%と最も多いのですが、教員へのアンケート「授業で一番気を付けている点は何か?」に対して、「基礎学力が身につく授業」が 43.6%、「生徒に応じてレベルやスピードを細かく調節する授業」が 12.8%となっており、生徒と教員の授業に対する意識の違いが明白です。今後、工夫、改善すべき点だと考えています。生活指導や進路指導に対する肯定的評価はそれぞれ 66%、70.2%と上昇傾向にあります。

(保護者の回答について)

「生活指導」、「進路指導」、「教員への相談のしやすさ」などの点につきまして肯定的な回答数はいずれも過半数を超え、上昇傾向にあります。また、「校長、教職員は学校をよりよくしようと頑張っている」につきましても昨年度より若干減少いたしましたが、72.5%が肯定的な回答でした。引き続きご期待に添えるよう努力いたします。ただ、「授業のわかりやすさ」につきましては肯定的回答が 48.0%と厳しい回答をいただきました。「授業に一番望むことは?」に対して、保護者の回答は「進路希望の実現」が 31.3%、「生徒に応じてレベルやスピードを細かく調節してくれる授業」が 29.9%でありやはり教員との間に意識の差があるようです。今後も教員相互の授業見学や研修等を通じて教員の授業力の向上に努めたいと考えております。生徒と保護者のご家庭での会話につきましては、「毎日」、「たまに」を含めて「会話をする」の回答が生徒、保護者とも 70%を超え、増加傾向にあります。